



ぐんま 県球連



2008.6.30

だより NO.4

群馬県野球連盟 前橋市平和町一丁目4-7 普及委員会 製作

平成20年度 定時総会 開催



群馬県野球連盟の定時総会が 渋川市内のホテルで2月16日（土）出席者80名 委任状提出者13名 代理出席者1名 出席総数94名 参加のもと開催され 冒頭 渋川・北群馬支部・支部長の 清水靖夫氏が 会長より議長に指名され 総会がスタート

各議決事項が審議され 支部選出理事の変更をはじめ 事業報告 決算報告に続いて 20年度の事業計画 予算案などが原案どうり確認 承認された

尚 今年度の方針は

モットーとして「**正確・迅速**」

特に学童部・少年部では 軟式野球を通じて
「健康で明るいスポーツ好きな 児童・少年」の育成
「早寝・早起き・朝ごはん」の奨励
「野球の基本をしっかり身に付け
かつ基礎体力づくり 仲間づくりに務める」

その他 推進する事業等が 掲げられ盛会裏に総会が終了した

県審判員の研修会 開催

群馬県審判員の技術向上を図り 野球の普及・発展を目的として
2月10日(日)吉岡文化センターで 県内審判員総数621名中 参加者534名が
野澤晋也審判長のもと 研修会を実施した
講師として 全日本軟式野球連盟 審判技術指導員の 飯塚 実氏(館林)が
◇塁審の構え方 ◇タイムの協調について ◇アピール時等の集合協議について
それぞれ説明した

また 審判技術研修員の 長谷川 文男氏から ◇臨時代走時の役割
◇捕手を含む内野手が一試合に投手の所へ行ける回数について
◇スピードアップについて 研修を行った

審判技術指導員の 星野 光広氏は 審判員のコンディションに関する
講義を行い

最後に酒井 明男技術指導員による 問題協議を実施 解答者として立った
利根・沼田支部の大倉審判員(写真)は ジェスチャーも交えて真剣且つ力の入った
解答であり 参加者全員の注目を集めた

今年度は 「健康で同調・協調・確認を目標に 次代を担う役員・審判員・指導者
の養成に努める」を 各人意識することで 終了した



さらなる研究と確認を!

2月11日 敷島公園野球場にて研究会を開催



高校野球部選手協力のもと 審判員参加 66名にて 真剣かつ熱心に
再確認しながら 研究をおこなった

強化委員会による 監督・選手強化研修会



開会挨拶 金田副委員長



特別講演 山本 貴巳氏

平成20年度の Aクラス監督・選手強化研修会が 2月20日（土）高崎ビューホテルで行われ 飛躍群馬を目指した

特別講演では 秋田県選抜総監督の 山本 貴巳氏から「監督としての心構え」について お話いただき 県内 Aクラスの監督、選手たちが真剣に耳を傾けていた

強化研修では 三菱ふそう北関東の長野監督・富士精螺の吉田監督・太田市役所の明戸監督 がそれぞれ体験による感想と注意点などを講演した また ルール解説では 酒井明男強化委員が基本ルールについて説明し 特に ボークと打者、走者の妨害などについて重点的に説明を行った 最後に 久我強化委員長が20年度の目標として「バッテリ強化とプレッシャーをかける走塁の実践」に関し 県大会・上位大会での対応について説明 閉幕とした

第5回中学校・少年野球の育成・強化に関する連絡協議会開催

2月20日（土）10時より県立前橋工業高等学校 3F会議室で次の7団体が集って役員の顔合せ及び各団体の問題点苦悩点を出し合う協議会が実施された

群馬県野球連盟（小林理事長他）群馬県スポーツ少年団（関口部長他）
群馬県中学校体育連盟（土屋強化委員長他）群馬県高等学校体育連盟（澤田理事長他）
群馬県高等学校野球連盟（富澤理事長他）前橋リトルシニア野球協会（都筑事務局長）
日本少年野球連盟群馬県支部（小林氏）群馬県野球連盟審判部部長（野澤氏）

の参加により学童から高校生までの育成について討論され 他に球場の安全面 球場へのAED設置 特待生問題等が討議され さらに裏方の重要性も提案された



球春を迎える準備

3月9日（日）敷島公園野球場で 県内各支部代表審判員の技術講習会が行われ

- ①技術の普遍化と質の向上
- ②基本的な位置と動きの確認
- ③審判員個々の修正

以上三点を重点に 76名が精力的に勉強した

プレー協力チーム野球部員は

太田市役所・富士精螺・三菱ふそうトラック・バス北関東・群馬銀行

技術講習の担当講師

1班	飯塚 実氏	補佐	阿部 忠氏
2班	星野 光広氏	補佐	岩野 秀夫氏
3班	酒井 明男氏	補佐	工藤 安男氏
4班	長谷川 文男氏	補佐	飯塚 章一氏

当日は9時20分より ジェスチャーと発声練習より始まり 15時20分までスケジュールをこなし 特にラインアウトを取る勇気を持つ事を確認していた

審判員の心得

- 1 マナーと身だしなみ
- 2 健康管理と精神の集中
- 3 規則書と競技者必携・県大会取り決め事項の習熟
- 4 動作はキビキビ グランド内は駆け足



星野指導員のジェスチャー



2塁へ盗塁の
タッチプレー



審判部ホープ
長谷川文男研修員

平成20年度 最初の大会

第33回群馬県選抜少年学童軟式野球大会

敷島公園野球場で3月22日～4月2日まで7日間 子供たちの元気な声が球場に響き渡った 開会式では玉村南小ボーイズの前澤孝弘主将の選手宣誓が力強く行われ 決勝戦は休泊ジュニア（太田）と女屋ヤンガーズ（前橋）の間で行われ 9対7で休泊ジュニアが頂点をものにした

決勝戦の審判は球審 原（渋川・北郡）一塁 清水（太田）二塁 九嶋（高崎）三塁 酒井（前橋） 以上四氏が務められ 両群が力の差のないチーム同志の試合なので 球審 原さんも充実したゲームになって大変良かったとの感想だった



選手宣誓



決勝戦審判 四氏



優勝 表彰
休泊ジュニア（太田）



乗附ライオンズ2連覇（大会史上2チーム目）

高円宮賜杯 第28回全日本学童軟式野球県予選・マクドナルドトーナメント県予選が群馬県立敷島公園野球場・前橋市民球場などで開催 開会式では榛東南リトルメッツの主将 吉田 翔平君の元気良い選手宣誓がおこなわれた参加チームは各支部より 30チームが参加し熱戦の結果 決勝戦は関根ファイターズ（前橋）と 乗附ライオンズ（高崎） の間で行われ自分たちのリズムを掴んで試合出来た乗附ライオンズが 4対1 で県代表となったなお 乗附ライオンズは 以前 第2回と第3回を連覇した下室田ファイターズ（群馬）に続き 2チーム目の連覇だった今回の優勝チームは8月に茨城県で開催の全日本大会と栃木県で実施の関東大会に参加活躍が期待される



天皇賜杯第63回全日本軟式野球群馬県大会

4月19日～5月3日まで 渋川・あずま・大胡・富岡の4会場で実施参加は 推薦チーム 太田市役所・三菱ふそう北関東の2チームに加え各支部より 28チームの 計30チームで開催された推薦チームである 三菱ふそう北関東が 準々決勝戦で三洋電機東京製作所（邑楽）に敗れたが 一方 推薦の 太田市役所は順当に勝ち進み決勝戦で三洋電機東京製作所（邑楽）を 4対0 で下し 群馬県代表の座をつかんだ



渋川運動公園野球場

試合前挨拶
太田市役所 対 高崎市役所



第63回群馬県実業軟式野球大会

（軟式野球県連最大のイベント）

国民体育大会県予選 高松宮賜杯第52回県予選 日本スポーツマスターズ県予選

☆ 抽選会（5月10日 上毛新聞社）



渋谷競技委員長説明



各チーム代表による抽選

☆ 開会式（5月24日 於群馬県立敷島公園野球場）

各支部代表 4競技 124チーム参加）選手宣誓 阿久津 拓己選手
（三菱ふそう北関東）



入場行進を待つ 連盟旗及び旗手を務める審判員



大会2日目早朝
競技委員、審判員、
選手によるグラウンド整備
（水取り風景）



A クラス

推薦 4チーム 各支部代表 27チーム 計31チーム参加
決勝戦は共に伊勢崎支部で かつまた推薦チーム同志の間で戦われ
サンデンが 7対3で優勝し 国体関東ブロック大会での活躍に期待



優勝のサンデンナイン



表彰を受けるナイン



岩佐強化委員先導による退場行進

B クラス

5月31日～6月7日までの3日間 伊勢崎・太田・大胡・館林・敷島の5会場で
各支部代表 32チームで熱戦が展開 最終日敷島球場で決勝戦が行われ
日新電機(前橋代表)と K・O・J・B嵐(桐生代表)が対戦 1回に3点を挙げた
日新電機(株)が 土屋投手の粘り強い投球で逃げ切り
高松宮賜杯関東予選一部 群馬代表となり 本大会での活躍が期待される
個人賞の 最高殊勲選手賞は 日新電機(株)の工藤 陽介内野手が選ばれた



県代表 日新電機(株) (前橋)



表彰をうける日新電機選手

C クラス

5月31日～6月8日までの3日間 高崎・藤岡・安中・富岡・敷島の5会場で
各支部代表 31チームの間で県代表の座が争われ 決勝戦は
ギガンテス(高崎)と バリーズ(館林)の戦いとなり
投打がかみ合った バリーズ(館林)が 高松宮賜杯関東予選の県代表
の座をつかみ 茨城県で開かれる 高松宮賜杯第52回全日本軟式野球
北関東予選会に県代表として出場し大会での活躍が期待される
個人賞の最高殊勲選手賞は バリーズ(館林)飯塚 和人内野手が選ばれた



県代表 バリーズ(館林)



表彰をうけるバリーズ選手

壮 年

推薦2チーム(末広クラブ・ジャンプスポーツクラブ)に
各支部より選ばれた 28チームによる 30チームで行われた
決勝戦は6月15日 三洋スターズ(邑楽)とヒカリS・Eクラブ(高崎)
の両チームで県代表の座が争われ 高崎支部のヒカリS・Eクラブが
栄冠の座をものにした
今大会の最高殊勲選手賞に ヒカリS・Eクラブの山田 保彦選手が選ばれた
優勝のヒカリS・Eクラブは8月16日、17日山梨県で開催される
日本マスターズ2008関東予選会に出場活躍が期待される



優勝のヒカリS・Eクラブ



受賞の選手
(6)



メダルを掛けてもらう受賞チーム

第30回東日本軟式野球大会（一部）視察

2010年群馬県で開催される上記大会視察のため6月20日より6月22日の3日間
福井フェニックススタジアムを中心に実施された

出席者は 萩原 賢一（県球連副理事長）
 笹治 禮子（県球連事務局長）
 渋谷 榮（県球連競技委員長）
 国裕 道夫（県球連普及委員長）

☆ 監督会議

6月20日（金） 葵会館大ホールで14時00分より監督会議が
1チーム2名がユニホーム着用必須で行われた

☆ 開会式

6月20日（金）福井フェニックススタジアムで 16時00分より
始まり 選手団入場は大会旗・優勝旗・県連旗・選手が
行進曲のもと入場した
開会宣言は大会委員長（ファンファーレ）により宣言された
続いて国旗掲揚・大会旗掲揚・優勝旗返還・大会長挨拶・
祝辞・歓迎の言葉・選手宣誓・閉式通告・選手団退場
（両側3チームずつ レフト・ライト外野出入口から退場）
役員退場で終了した



監督会議前の様子



開会式の様子



国旗・大会旗入場



入場行進風景

本大会参加チームは開催地4チーム 福井県より1チーム
各支部（県）代表24チームの合計29チームで3日間の日程
4会場で実施 天候には左右されたが予定通りに無事終了されたようでした
なお 本県代表チームは 富士機械（前橋）でした

支部のあれこれ (利根・沼田支部)

小嶋 佳一 (群馬県野球連盟利根沼田支部長) の
群馬県スポーツ功労者賞 受賞祝賀会が平成20年6月22日 (日) 18時より
ホテルベラヴィータで開催された
競技活動暦では



昭和25年4月	利根地方事務所野球部選手 (27年群馬県実業軟式野球県大会準優勝)
昭和33年4月～現在	群馬県野球連盟利根沼田支部審判員
昭和55年4月	群馬県野球連盟利根沼田支部副支部長
平成16年3月～現在	群馬県野球連盟利根沼田支部支部長
昭和61年2月	群馬県野球連盟 評議員
昭和62年2月	群馬県野球連盟 理事
平成18年2月～現在	群馬県野球連盟 相談役

今般の受賞 おめでとう御座いました
これからも益々のご活躍を期待します

第1回常任理事会

平成20年2月3日 10時30分より前橋パークホテル楽々園にて

理事の変更について

高崎支部選出理事

退任者 高橋 幸治

後任 尾池 国雄

に伴い

常任理事・ベストナイン等5賞選考委員 飯塚 章一 (副審判部長)

総務委員 野澤 晋也 (審判部長)

大会会場割り当て 東日本予選会会場 伊勢崎華蔵寺公園野球場を
藤岡市民野球場に変更しようとするもの

第2回常任理事会

平成20年6月28日 13時30分より 前橋パークホテル楽々園にて

理事の変更について

伊勢崎支部選出理事 (常任理事) 退任者 金井 昇

後任 掛川 俊明 (理事長代行)

県実軟大会棄権チームの処置について (Bクラス伊勢崎支部 木島クラブ)

全軟連・県体協功労者表彰候補の推薦について

三役及び監事候補者推進委員の互選について

21年度支部別 Aクラスチーム数について

その他 4件など協議

県球連の行事・組み合わせ・大会結果等は
群馬県野球連盟公式サイト

<http://www1.ocn.ne.jp/~gsbb/>

をご覧ください

[編集後記]

「県球連たより」に ご意見 ご感想
をお寄せください

誤字 脱字など お許しください